

2016年3月期 第2四半期 決算説明補足資料

エンカレッジ・テクノロジー株式会社
(証券コード：3682)
2015年11月5日

目次

1.2016年3月期 第2四半期（累計）決算概要

2.2016年3月期 業績予想

3. 2016年3月期 下半期 重点施策について

4.参考資料

目次

1.2016年3月期 第2四半期（累計）決算概要

2.2016年3月期 業績予想

3. 2016年3月期 下半期 重点施策について

4.参考資料

2016年3月期 第2四半期（累計）決算概要

当四半期の業績と前年同四半期比較

（単位：百万円）

	2015年3月期 第2四半期累計	2016年3月期 第2四半期累計		
		実績	増減額	増減率
売上高	602	741	+139	+23.2%
売上総利益	448	550	+101	+22.7%
販管費	276	276	0	0.0%
営業利益	172	274	+102	+59.3%
経常利益	172	276	+103	+60.3%
当期純利益	118	182	+64	+54.5%

- ・売上は新規および追加ライセンスと保守が牽引
- ・派遣社員増による外注費の増加、人員増による労務費の増加はあったものの、上期での最高利益を確保

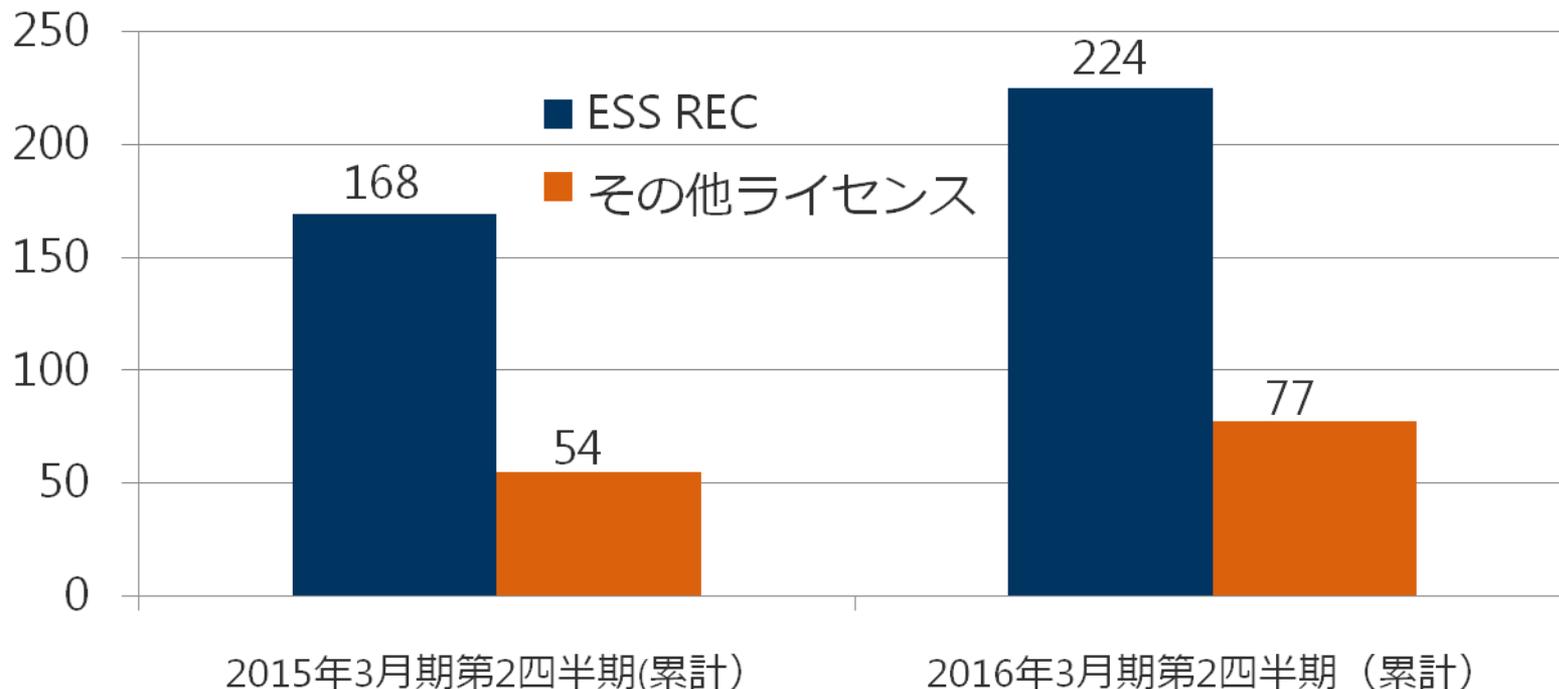
売上構成の推移

(単位：百万円)

構成項目	モデル	2015年3月期 第2四半期 累計	2016年3月期 第2四半期 累計	対前期比 増減率
ライセンス	フロー型	223	302	+35.2%
保守サービス	ストック型	276	329	+19.5%
コンサルティング	フロー型	38	53	+39.8%
常駐サービス	ストック型	32	28	△12.8%
その他		31	27	△12.5%
売上高合計		602	741	+23.2%

ライセンス売上 対前期比較

(単位：百万円)



- ・ライセンス売上は対前期比+35%の伸び
- ・ESS RECは引き続き堅調な売上の伸び (対前期比+33%)
- ・その他ライセンスではESS AdminControlが50百万円 (対前期比+72%) を占める

貸借対照表

(単位：百万円)

	2015年3月期 期末実績	2016年3月期 第2四半期 期末実績	対前期比 増減率	主な増減要因
流動資産 (うち現金および預金)	2,525 (2,288)	2,719 (2,527)	+7.6%	現預金 238 売掛金 △42
固定資産	201	211	+5.0%	ソフトウェア 10
資産合計	2,727	2,931	+7.4%	
流動負債	458	530	+15.5%	前受金 121
固定負債	25	25	+0.1%	
純資産	2,243	2,375	+5.9%	当期純利益 182 剰余金の配当 △64
負債・純資産合計	2,727	2,931	+7.4%	

重点施策の進捗状況

■ ソフトウェアパッケージ事業の拡大

新規導入社数増加 20社（前期同期 11社）

既存顧客の追加売上も前年同期比で伸長

直販・代理店商流のいずれも前年同期比で伸長

累計採用企業数450社超
(2015年9月末現在)

■ クラウドサービス事業（EAG）の確立

地域密着型SI企業との協業モデルを開始

：株式会社電算

DC（クラウド）事業者との協業先拡大

：日本システムウエア株式会社

■ 保守サポートサービス契約更新率の維持向上

半期での更新率は95%（前年通期での更新率は91%）

2015年3月期 第2四半期(累計期間)トピックス

5月13日

- 株式会社電算との協業を発表

6月1日 日本年金機構
情報漏えい発生を公表

6月16日

- 民間企業のための「マイナンバー」カンファレンス出展

6月29日 FISC安全管理基準改定

7月

- F I T 東京・大阪フォーラム出展

7月29日

- ESS AdminGate VA発売開始

8月18日

- 日本システムウェア株式会社との協業を発表

8月27日

- セキュリティマネジメントカンファレンス2015出展

9月3日 個人情報保護法
マイナンバー法
改正案可決 成立

目次

1. 2016年3月期 第2四半期（累計）決算概要

2. 2016年3月期 業績予想

3. 2016年3月期 下半期 重点施策について

4. 参考資料

2016年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 上期 (実績)	2016年3月期 下期 (予想)	2016年3月期 予想	対前期比 増減率
売上高	1,368	741	797	1,538	+12.4%
売上総利益	1,026	550	595	1,145	+11.5%
販管費	571	276	369	645	+12.9%
営業利益	454	274	225	499	+9.9%
経常利益	460	276	224	500	+8.6%
売上高 経常利益率	33.6%	37.2%	28.1%	32.5%	-
当期純利益	318	182	147	329	+3.4%

- ・ 下期増加費用は人件費、採用費および広告宣伝費を見込む

売上構成別 下期予想

(単位：百万円)

構成項目	2016年3月期 上期 (実績)	2016年3月期 下期 (予想)	下期コメント
ライセンス	302	323	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主力製品のESS RECは引き続き堅調な売上を見込む ・ その他ライセンスのEACも引き続き堅調な売上を見込む
ESS REC	224	234	
その他ライセンス	77	90	
保守サービス	329	345	・ 年間更新率95%を想定
コンサルティング	53	65	
常駐サービス	28	36	
クラウドサービス	5	11	
その他	22	17	
売上高合計	741	797	・ 前期下期実績766

売上構成別 対前期比較 (通期予想)

(単位：百万円)

構成項目	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (期初予想)	2016年3月期 (予想)	対前期比 増減率
ライセンス	563	625	625	+11%
ESS REC	407	458	458	+12%
その他ライセンス	155	167	167	+7%
保守サービス	570	639	674	+18%
コンサルティング	106	118	118	+11%
常駐サービス	63	64	64	+1%
クラウドサービス	6	50	16	+166%
その他	57	39	39	△31%
売上高合計	1,368	1,538	1,538	+12.4%

目次

1.2016年3月期 第2四半期（累計）決算概要

2.2016年3月期 業績予想

3.2016年3月期 下半期 重点施策について

4.参考資料

外部環境と当社の取り組み

新FISC基準

金融界におけるシステムリスク
対策強化の動き強まる

サイバー
攻撃対策

内部対策としての
特権ID管理需要が徐々に増加

マイナンバー
安全対策

制度対応が先行するが、安全対策に
ついては大手～中堅へ徐々に浸透

クラウドの
セキュリティ

重要システムの移行により
クラウド上の安全対策の必要性が増加

ニーズ・要件を満たす
製品・サービスの開発

代理店やクラウド事業者
との提携・協業推進

訴求・認知活動の強化

2016年3月期 下半期 重点施策

ソフトウェアパッケージ事業の拡大

クラウドサービス事業（EAG）の確立

保守サポートサービス契約更新率の維持向上

2016年3月期 下半期 重点施策

ソフトウェアパッケージ事業の拡大

新規顧客開拓（新FISC基準・サイバー攻撃・マイナンバー安全対策提案）

営業戦略

代理店協業強化（共同プロモーション）

MKTG戦略

セミナー出展（新FISC基準/マイナンバー/セキュリティ全般）

既存顧客開拓（新FISC基準・サイバー攻撃・マイナンバー安全対策提案）

営業戦略

既存顧客へのクロスセル（管理対象システムの拡大）

既存REC顧客へのクロスセル（EACの新規販売）

次世代版SIO製品（次年度発表予定）の開発強化（産学連携等）

2016年3月期 下半期 重点施策

クラウドサービス事業（EAG）の確立

新規協業先の開拓

既存SIO代理店	EAG取扱い推進（公共・中堅企業マーケットの開拓）
新規協業先	大手IaaS事業者との提携（公共・中堅企業マーケットの開拓） 地域密着型SI企業との提携（地方公共団体等マーケットの開拓）

既存協業先への販売強化

営業戦略	営業支援強化（技術支援） 共同プロモーション
機能強化	顧客要求の取り込み（次世代版SIO製品開発）

2015年3月期 下半期 重点施策

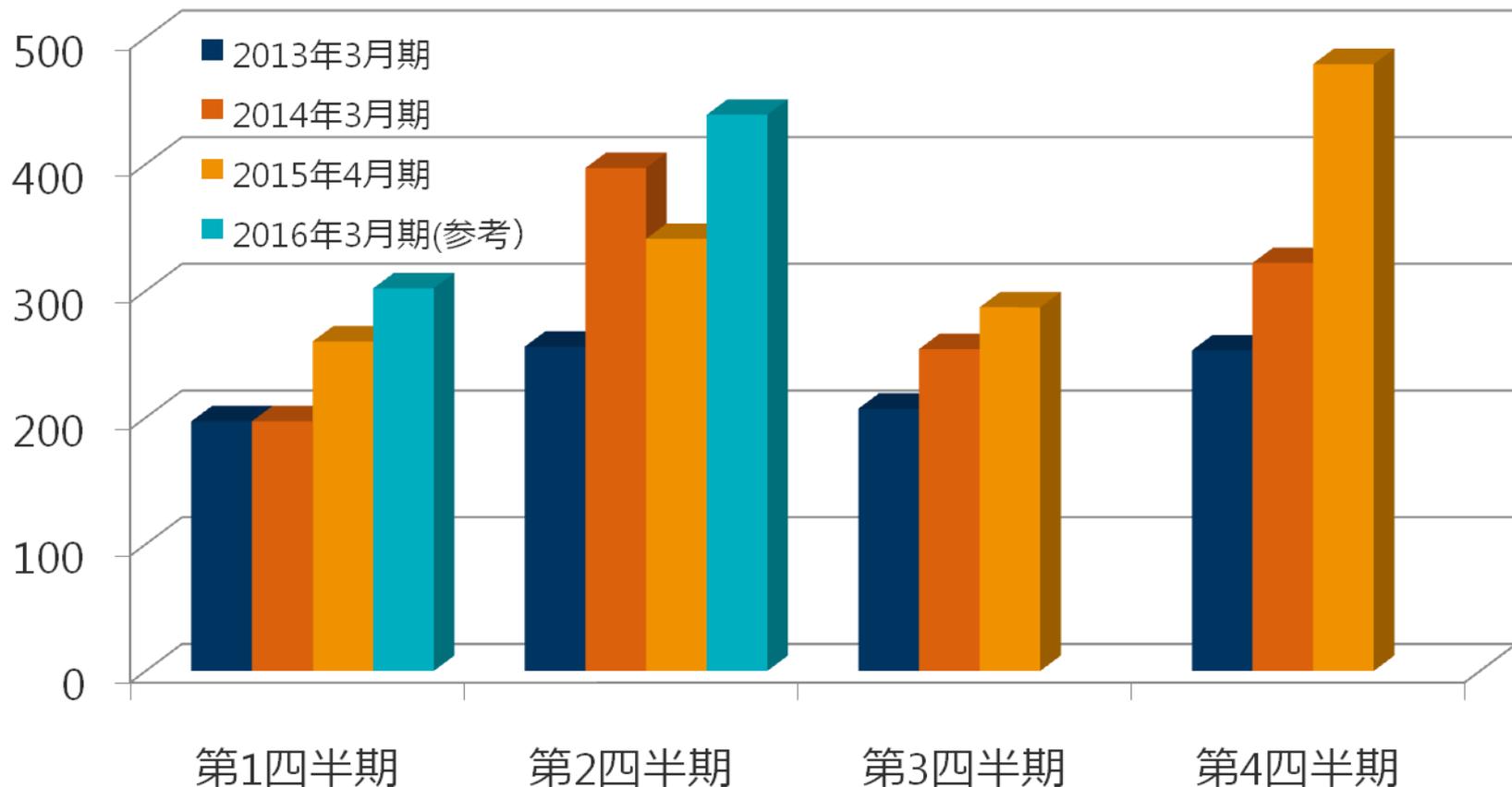
保守サポートサービス契約更新率の維持向上

保守更新率95%の獲得

- | | |
|--------|---|
| 技術支援戦略 | 活用塾セミナー（中級者向けコース実施予定）
（初級者向けコース上半期実施） |
| 製品戦略 | お客様プロファイルの収集（継続）
機能強化（マーケットニーズの取り込み）
品質の更なる向上 |

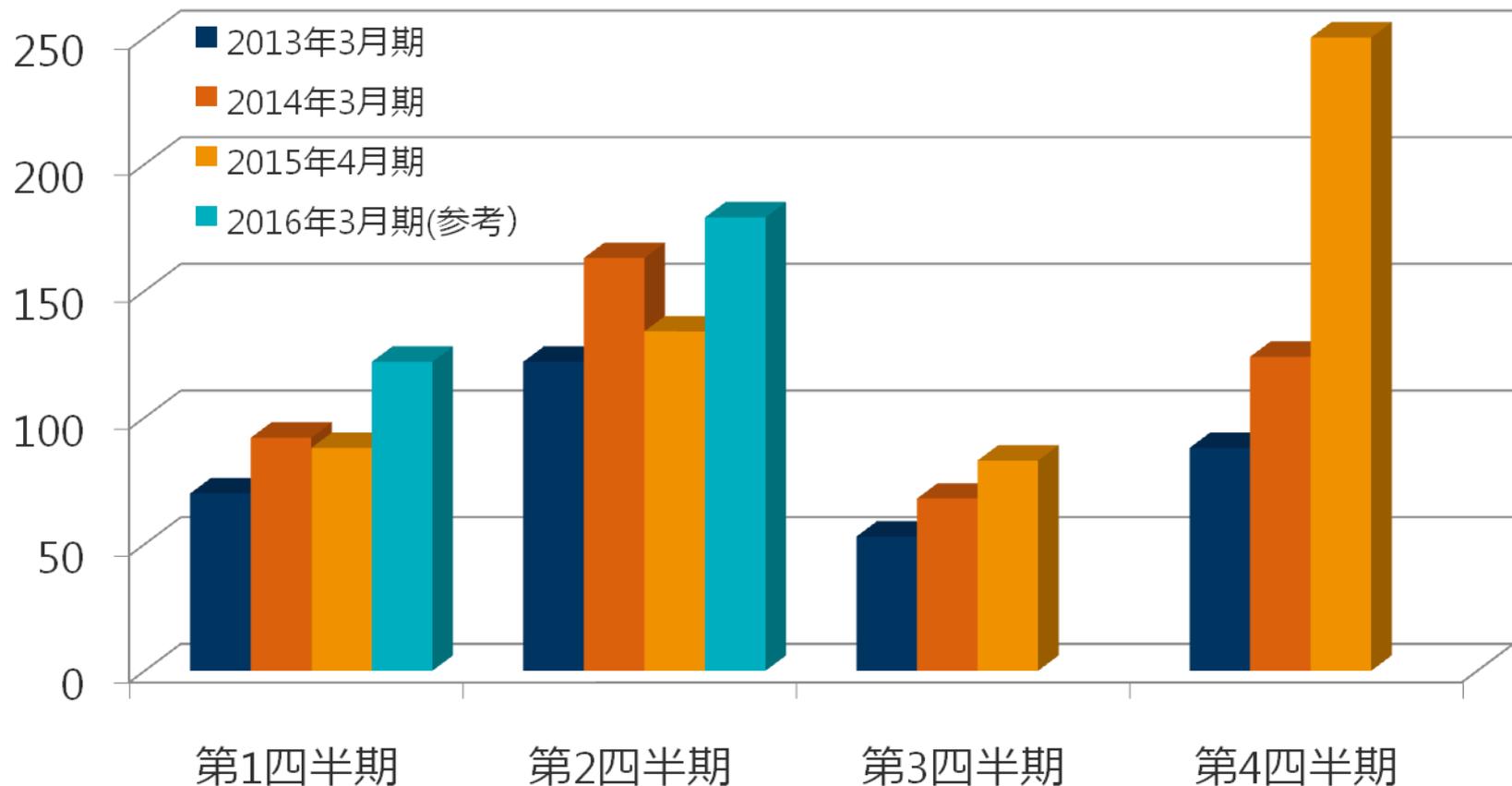
参考資料：四半期別売上推移

(単位：百万円)



参考資料：四半期別ライセンス売上推移

(単位：百万円)



目次

1.2016年3月期 第2四半期（累計）決算概要

2.2016年3月期 業績予想

3.2016年3月期 下半期 重点施策について

4.参考資料

会社概要

セキュリティ対策および内部統制に対応したパッケージソフトソフトウェア開発・販売



エンカレッジ・テクノロジー株式会社
Encourage Technologies Co., Ltd. (証券コード：3682)

所在地： 東京都中央区日本橋浜町3-3-2 トルナーレ日本橋浜町
設立年月日： 2002年11月1日
代表者： 代表取締役社長 石井 進也
従業員数： 72名(2015年9月末日)
決算日： 3月31日
事業内容： コンピュータシステムソフトの開発・保守並びに販売
コンピュータ運用管理に関するコンサルティング
コンピュータ運用管理に関するBPOサービス

経営理念

Value & Satisfaction

お客様の視点で新たな価値を創造し、
満足いただける製品とサービスを提供します。

Happiness

社員と会社の目的を一致させ、
物心一体の幸福を追求します。

Compliance

国内外の法令と企業倫理を遵守し、
誠実かつ公平に業務を遂行します。

事業概要

企業や官公庁の情報システム（基幹業務）運用のセキュリティ対策
および内部統制強化をサポートする

1 パッケージソフトウェア製品の企画・開発

2 保守サポートサービス

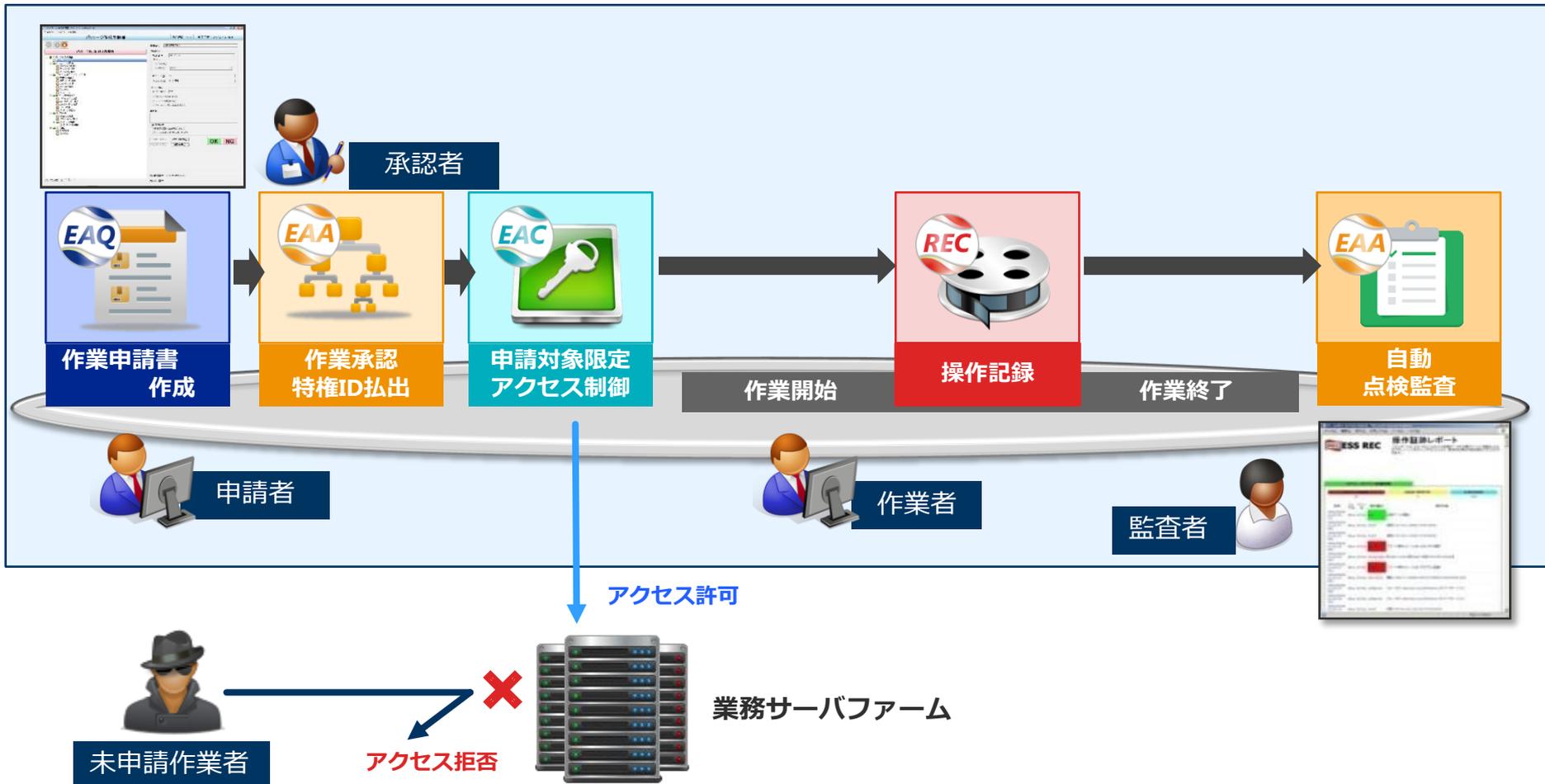
3 コンサルティングサービス

4 SIO 常駐サービス

をソリューションとして提供

ソリューション

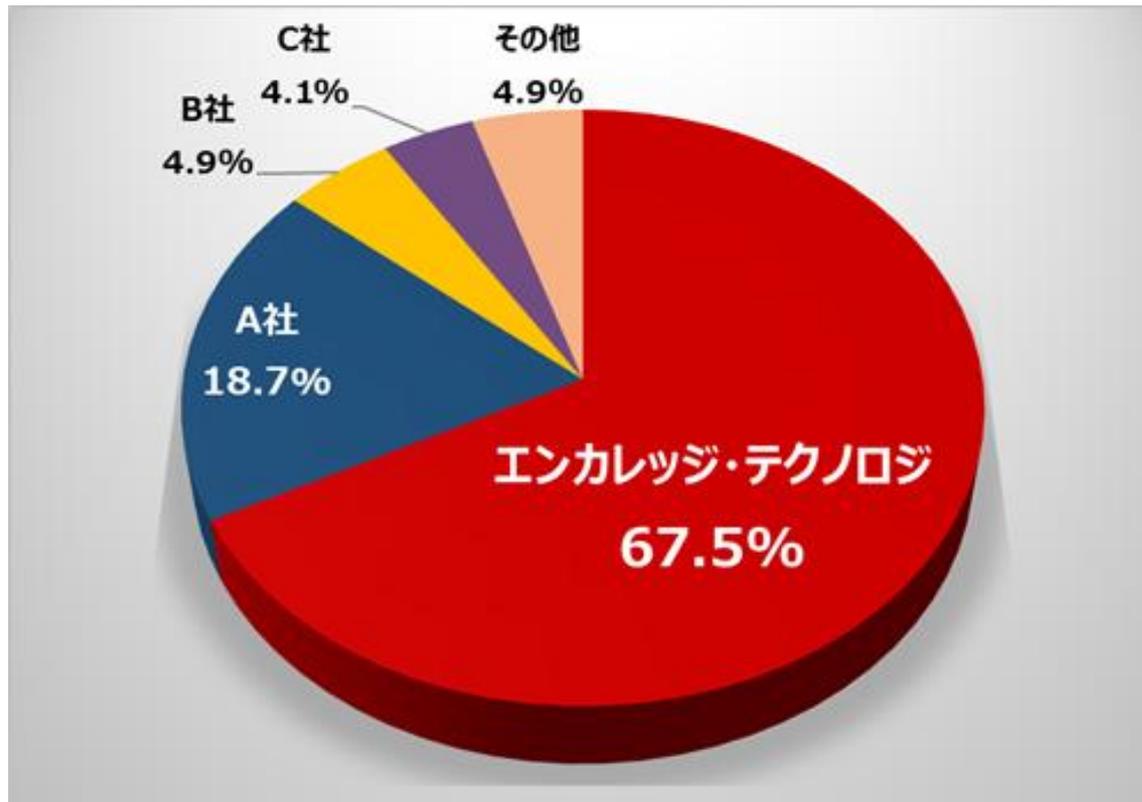
一気通貫で連携したソリューション





ESS REC 主力製品について

6年連続で国内市場シェア1位を獲得



出典：情報セキュリティソリューション市場の現状と将来展望2015【内部漏洩防止型ソリューション編】
2015年8月発刊 株式会社ミック経済研究所

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。